



光明中学校だより

ひかり 明るい みんなの笑顔 心がステキ 光明中 ～人と人のつながりがたからもの～

第11号【令和7年10月7日】 生駒市立光明中学校 校長 斉藤 稔

体育大会が近づいてきました

正直に言うと、体育大会で創作ダンスを披露することに、当初は少し疑問を感じていました。体育大会とは、学級対抗の「競技」を通じて勝敗を競い、学級のチームワークを高める場だという先入観があったからです。まるでオリンピックで各国が獲得したメダル数を競い合うように。しかし、3年生がダンスの練習に取り組む姿を見て、その先入観はすぐに払拭されました。One Direction の「What Makes You Beautiful」に合わせ、驚くほど速く複雑な振り付けを、ダンスリーダーを中心に隊形を変化させながら仕上げていきます。入退場の音楽も、ダンスリーダーがアクセントになる曲を選んでくれました。試行錯誤を重ねる中で、少しずつダンスの全体像が見えてきました。何より印象的なのは、踊る生徒たちの生き生きとした表情と満面の笑顔です。そこには、表現活動の持つ力と可能性が確かに感じられます。踊りは、人類の長い歴史の中で、感情や思いを伝える重要な手段として受け継がれてきました。この創作ダンスを通して、3年生の生徒たちは、光明中学校での3年間の楽しさや喜びを表現しているように、私の目には映っています。

現在、色別練習も始まっています。1年生から3年生までの縦割り集団で取り組む活動です。そこでは、学年の枠を越えたやりとりが活発に行われています。「大縄跳び」では、タイミングと呼吸を合わせて、より多く跳ぶための練習。「因幡の背渡り走」では、土台となる生徒の素早い動きや安定した姿勢の工夫。「台風目」では、棒の持ち方や位置取り、カーブでの動き方など、それぞれの競技でリーダーを中心に、あれこれと相談しながら活動が進められています。この「あれこれと相談する」ということこそが、学校行事の大きな目的なのだと思います。考察、発見、提案、相談、協議、そして物事を前に進める。これは、社会の仕組みにも通じるものです。こうした活動を通じて、生徒たちが生きる力を育んでいくことを、私たちは期待しています。

生徒たちは学びの途中にいます。一步一步、確実に前に進んでいます。私たち教員もまた、教育活動を通して心を育てるという大きな目標に向かって、理想を追求する道の途中にいます。保護者の皆様には、学校の取組にご理解とご協力をいただき、また練習後の汗と泥と努力の染み込んだ体操服を洗濯してくださり、心より感謝申し上げます。体育大会は、10月15日（水）に実施いたします。田畑にトンボが飛び交う気持ちの良い季節となりました。生徒たちの成長を確かめるために、また光明中学校の取組をご覧いただくために、ご都合がございましたら、ぜひご来校ください。